

社民党

渡辺みのる通信

● 第 51 号 ●

発行日/2020年(令和2)4月(3月議会号)

発行/渡辺みのる後援会

石川町大字北山形字引地1

電話&FAX 0247-26-6994

携帯 090-2798-0434



写真説明

今の時期、野草が一斉に花を開かせます。水田の周辺や畑の土手などでひときわ真っ白な花を咲かせているのが目につきます。イチリンソウやニリンソウです。写真はニリンソウですが、「花が2個つく」という意味の名前です。実際は1個や3個、4個の時もあります。

令和2年度予算額83億千万円に 防災対策室と道の駅準備室が設置

4月から新年度は新型コロナウイルスの感染拡大によって、多くの行事や集会が中止や縮小、外出自粛など様相が一変しています。どこの国とも交流が盛んになり、グローバル化している現代社会の弱さ、恐ろしさを実感しています。先の見えないウイルスとの戦いですが、必ず抑え込み、感染しない行動と免疫力を高める工夫が大事です。

3月議会は、令和2年度の事業と予算を決定する議会です。昨年の水害の復旧復興予算が生まれ、一般会計総額が83億千7百万円の大型となりました。借入金の残額は年度末には81億8千万円を超える予定です。

4月から役場組織の変更があり、1課増えて12課体制になりました。また、防災対策室と道の駅準備室が設置され、業務が集中的に進められることになりました。今年も皆様のご支援を宜しくお願いいたします。

モニタリングポスト撤去は、だめ

石川町大字北山形集会所敷地に設置されているモニタリングポストです。4月5日の数値は0.078 マイクロシーベルトを表示しています。平成25年には0.172 マイクロシーベルトでしたので、大きく下がっています。

国と東電は、モニタリングポストの撤去を打ち出していますが目に見えないし、匂いもない放射能は、検査機器で、確認すること以外、存在を知る方法がありません。福島原発事故によってばらまかれた放射能は、今もその場所で放射線を出し続けているのです。その危険を確認するこのポストを撤去することは許されません。

又、数値が低いと安心して生活できる安堵感をもらえます。

原発事故が風化していくことに怖さを感じます。



◆一般質問から◆

渡辺：病院誘致、公約の重さをどう考えているか

町長：できる限り頑張らなければならない、しかし出来ないものもある

先の町長選挙で、塩田町長は「病院誘致」を公約に掲げ、当選しました。昨年5月、「病院等に関する検討委員会」を設置し、今年2月、検討委員会から「報告書」が提出されました。これを受けて、町長としての考え方、方針が示される段階に入ったものと考えています。そこで、再度、町長の考え方を質しました。



▲田や畑の土手、道端に繁殖するカキドオシ

渡辺 病院等に関する検討委員会報告書の概要を伺う。

町長 町民が安心して暮らすことができ、医療体制の充実を目指すため、町における医療の現状を踏まえ、町民が求める病院像が示されています。一方、病院用地の提供や将来にわたり町民の負担にならない病院であること、病院の選定にあたっては公募が望ましいなど、課題も示されています。更に、病院に代わる医療体制の整備を図ることについても示されています。

渡辺 病院建設の費用や用地の規模など検討されていれば伺います。

町長 例えば、独立行政法人福祉医療機構が前年度、全国の病院建設の面積、建設費を出しています。それによると病床150床の病院を建設する場合、8100㎡の建物が必要で、約30億円、面積は5階建病院とすると。建物と駐車場で土地は少なくとも11,700㎡が必要と想定しています。約40億円くらいかかると思います。

渡辺 報告書では誘致は公募ということが提案されていますが、町長の考えは。

町長 そのことも含めて今後、検討していきます。



▲夕暮れと北山形種蒔サクラ

渡辺 報告書では、建築費や設備費、開業後の維持費、運営費を負担することは考えられないと述べていますが、町長の考えは。

町長 将来の負担を残すことは無理だろうと大方の意見でした。土地を準備するといっても、貸与なのか譲渡なのかということになります。

渡辺 公約の重さをどう考えていますか。

町長 公約ですから実施に向けて取り組んで行かなければなりません。しかし、出来るものと出来ないものがあることは承知しております。出来る限り努力して頑張らなければならないと思っています。

町中小企業・小規模企業振興基本条例を制定

3月議会で、中小企業や小規模企業の振興を目指して、基本理念を定め、町の責任並びに中小企業等の努力等を明らかにするとともに、振興施策を総合的に推進するものです。

子どもたちの未来のために④

コロナで、患者や医療従事者、収入減や失業の人に温かいまなざしを

今年も桜が美しく咲きました。やはり、桜は純粋な気持ちでめでるのが一番です。そんな春の訪れを楽しむことを、新型コロナウイルスが邪魔しています。外出制限が、今や全世界人口の半数に達したそうです。医師や看護師の命がけの治療に対し、欧米では夜8時になると、医療従事者にエールや拍手を送っています。ふと原発や除染に従事する人たちも同じだと思いました。大きな災害や感染症対策のかけには、多くの関係者が働いていることを忘れてはなりません。

今や、だれがいつどこで感染してもおかしくないとどこまでできています。放射能流出で「福島差別」を受け、辛さを体験した私たちが、今度は「コロナ差別」をする側に回るのでは悲しすぎます。感染予防とともに、ウイルスと闘う患者や懸命に治療に当たる医療従事者、収入減や失業などで苦しむ人たちがいることにも目を向け、温かなまなざしを注ぐことが大切です。教科書で学ぶ道徳よりも、ずっと生きた学習になります。一方、花々が次々に咲き誇ります。ウグイスも鳴き始めました。自然を感じる、笑うこと、音楽を楽しむことなど・・・メンタルに良いことも心がけていきましょう。



(K.H) ▲3月27日の雪と椿の花

◆一般質問から◆

渡辺：早急に、母畑浄水場の改修を**町長：令和2年度中に優先順位を決め、取り組みます**

母畑浄水場は築49年が経過し、平成12年には移転計画、15年には用地取得、30年には基本設計を策定したが、事業費や国の広域化方針などで、再検討がされています。移転新築から改修への検討がされています。老朽化が著しく、多くの行政課題の中で最優先に取り組むべき課題と考えています。再度、町長に質しました。



▲温かい春の日、ツクシの群生と沼

渡辺 施設の老朽化をどのように考えているか。

町長 老朽化は甚だしい状況です。特に懸念される部分は高速凝集沈殿池、急速濾過池です。コンクリート躯体等も耐震性が懸念されています。

渡辺 今後の整備計画を伺います。

町長 令和2年度に高速凝集沈殿池の仮設の実施設計を策定、玉川村との協議、その後、年次的に急速濾過池、配管、電気設備の更新を計画しています。

渡辺 事業費をどのくらい見ているか。

町長 改修の事業費はおおよそ20億円以内と見通しています。

渡辺 財政計画は。

町長 自己資金で4～5億円、企業債で8～9億円になると考えています。

渡辺 水道料金値上げの考えは。

町長 改修になっても、老朽管の更新もあり、値上げを検討しなければなりません。

渡辺 水害からの復旧、病院誘致など多くの課題があるが、令和2年度末には借金残高が81億円を超す、絞って取り組むべき、浄水場の改修は最優先に取り組むべきと思うが。

町長 令和2年度中に優先順位を定めていきます。

渡辺：公契約条例の制定の考えは**町長：他町村の動向を踏まえ、慎重に判断**

渡辺 公契約条例制定の状況は。

町長 自治体の公契約の相手方事業者の責務を明らかにすることで、業務に従事する労働者の労働環境を確保し、併せて業務の品質の確保し、地域経済の発

展と福祉の増進を図ることを目的に制定するものです。全国54自治体で制定、郡山市でも制定されています。

渡辺 条例制定の考えは。

町長 他町村の動向を踏まえ、慎重に判断します。

渡辺 最近の入札で、予定価格の43.7%で落札した件や給食の入札では、働く人が安心して働けない状況も生まれます。条例制定の考えを再度伺う。

町長 今後、調査していきます。

土地改良事業に係る金銭等の賦課を減免

先の台風19号による水害のあった小規模農地災害で、事業費の一部を所有者に負担を求めることになっていますが、3月の議会で、所有者負担を減免することになりました。

**新型コロナウイルスから身を守る
予防法プラス免疫力の強化が大切**

新型コロナウイルスの感染が地球規模で広がり、文明社会のシステムが機能不全になりかかっています。

宇宙だ、ロボットだ、軍事力だと進歩オンリーの現代人の足元に、原始的な悪魔がいたのです。人間は何度もウイルスに苦しめられてきたし、これからも未知の病原菌がいつ襲ってくるかわからない時代、免疫力を強くする食物が注目されています。納豆、ヨーグルト、ニンニク、ショウガ、山芋、緑茶、紅茶、アワ、キビの雑穀、玄米などです。

国際化時代の生活を考え、常に免疫力を最強にしておく上で、効果的なのが「発芽玄米」です。発芽玄米は豊富な食物繊維、腸内細菌のエサとなって腸内環境を良くします。免疫細胞の70%が腸内に集中し、体外からのウイルスや細菌など排除する働きをしています。

イライラや不安のストレスが続くと、睡眠不足となり、免疫力が低下します。癒しの効果で心をやすらかにしてくれる成分の一つに「ギャバ」があります。ギャバは発芽玄米に白米の10倍も多く含まれていますし、血流改善、高血圧や糖尿病の予防に効果が期待されています。又、若返り効果のビタミンEに加え、B1、B2、認知症の予防に役立つ葉酸が豊富です。

(月刊社民4月号食文化107より)

令和2年度(2020)主な新事業と拡大事業の紹介…タクシー料金助成始まる

タクシー料金助成事業始まる

- ①重度心身障害者に対し、タクシー料金の一部を助成する身体障害者手帳1級・2級、療育手帳A、精神障害者手帳1級所持者に対し助成する
予算額：500千円
- ②高齢者タクシー券助成(80才以上の方)
4月～9月申請 500円券20枚
10月～3月申請 500円券10枚
予算額：8,000千円



▲シソ科ニシキゴロモ

道の駅整備事業

- 農産物の直売施設を含め産業を育てる場として道の駅の整備を図る
- ①基本構想・基本計画の策定(10月完成)
 - ②用地の測量・調査
予算額：9,429千円

町スケート場大規模改修事業

- ①リンクフロアなどの改修
- ②アイスパネルの更新
- ③製氷設備の修繕
予算額：55,564千円

野木沢小屋内運動場 防災機能強化

屋内運動場の大規模改造を行い、避難施設としての防災機能強化を行うため、基本設計を行う。
予算額：4,081千円

小中学校情報化教育 推進事業

ICT環境整備を進め、利用促進のため、校務支援システム、授業支援システムを導入。ICT支援員を配置する。
予算額：14,447千円

「殿畑遺跡」(沢井地区) 記録保存事業

県営の圃場整備事業で、一部消滅する遺跡の発掘調査、記録保存。
予算額：5,000千円

防災機能強化事業

- ①石川町地域防災計画の改定
台風19号災害を反映
- ②河川の監視カメラ導入
- ③消防団員防寒衣の導入
予算額：9,110千円

県指定天然記念物 「中ノ内のフジ」保存事業

中ノ内のフジを支える支柱設置する。
樹木医による現地説明会を開催する。
予算額：8,338千円



▲春に咲くフデリンドウ

定住促進事業

- ①移住促進家賃補助
新たに住民登録し、正職員で就業者に3年間補助町内就業者月1万5千円、町外就業者月1万円
- ②結婚新生活支援事業(引越しや住居費の一部補助)
予算額：3,900千円

地域おこし協力隊制度の導入

観光物産協会の組織強化と法人化を図るため、地域おこし協力隊を導入する。観光資源の活用・PRの強化を。
予算額：7,243千円

明治13年1月20日、 石陽社事務所を新町に開所

石川町大字北山形の「渡辺直藏家文書」の中に、明治13年(1880)1月30日付けの石陽社からの通知の写しが残されています。20日の石陽社議会で決定した内容の通知で、山橋村の社員9名には直藏から回覧したようです。

まず、石陽社の所在地を新町56番地に定め、本月20日に開所したことが報告。そして、議案6本が決議されました。

第1号議案は、役員更撰は参加者僅少のため、次回に廻すこと。第2号は、役員職務に関する改正。第3号は、本年2月上旬、仙台で開催予定の東北連合会に出席者を河野広中と吉田光一に決定。第4号議案は同連合会の議案編制委員は出席委員が兼務すること。第5号議案は、昨年11月開催の愛国社大会で、東京支社設置を決定し、3月と4月石陽社から支社常備委員と3月に開催され

る愛国社大会出席者として河野広中を選任、但し、事故で出席できないときは代理として吉田光一を充てることを決議しました。

この時、吉田光一は愛国社大会の決定により、立志社の山本幸彦と共に、国会開設のため、奥羽遊説中です。実際は、東京支社常備委員も吉田光一が勤務します。

第6号議案は、社の予算で愛国社月謝、常備委員月俸、大阪出張旅費、本社常会旅費・賄料、東北連合会費、臨時費等計411円13銭5厘の工面は、本郡と近郡社員より2年分の社金を徴収、不足分は遠国社員から徴収、更に不足分は有志金を募集することを決めました。

石陽社の活動が愛国社加入・東京支社の設置や国会開設運動参加、東北連合会の結成など全国的になっていくに当たって、運動を担う人の育成や金銭面での苦勞が大変なものであったことが見えます。又、11年と12年の2年分社金納入期限を本月30日迄とは、急を要しており、石陽社の経理は火の車であったと思われます。